

高橋けいすけ

県議会報告

No. 54	自宅/山形市高堂1-5-20-3 ☎023-643-4847
2024年3月29日	県議会/県政クラブ執務室 ☎023-630-3211
発行人/高橋啓介県議会議員	



将来不安を払拭する政治を

多くの皆さん方から、「政治とカネ」の問題で憤りともとれる話しが寄せられ、政治の世界に身を置くものとして、本当に残念な思いをしています。何故、不記載にしたのか。辞職した谷川議員〔長崎第3選挙区〕の報道でも全容解明はなりませんでしたが、秘書に責任を転嫁することなく自らを律した行動を、政倫審に出席した議員は、学ぶべきではないでしょうか。結果として、保身に走り根本的解決に結びつかず真相究明には程遠いものとなっています。

国民本位の政治を 少子化や物価高騰、更には生活苦で明日の生活もままならない人々からすれば、今の政治に「嫌気」を感じ更に政治離れが進む危険性を感じてしまいます。これだけ世間を騒がせたにもかかわらず、政治の刷新が図られない異常さを痛感させられます。国民本位の政治を目ざし「おかしいことはおかしい」と言える社会にすることが大切ではないでしょうか。少なくとも、脱税は許されないと考えます。

非正規を無くす社会 政治課題の大きなひとつに人口問題があります。



県政クラブとして設置

議会報を読んで頂いている方からも指摘を頂きました。私もこの課題につきましては、これまで何度となく取り上げ、人口減少を克服してきた新潟県の黒川村〔合併して胎内市〕の事例を取上げ質問して参りました。黒川村では、働く人々の労働環境に着目して、安定した職場を村が提供することによって、若者が定着し人口増を図っていました。

一方、国が進めてきた政策は、黒川村とは反対の不安定労働者を平成の時代につくり、結果として非正規労働者が4割の社会になっています。政府の「少子化社会対策白書」でさえ、少子化の大きな原因として非正規雇用の増加を毎年指摘しています。この環境を作ったのは、バブル崩壊後に大企業の利益を優先させ「製造業まで派遣を認めた」自民党政権の失策に他なりません。

岸田総理が「賃上げ」を要請する前に、雇用不安の派遣を無くす政策に戻すべきです。本県では、非正規を正規にする政策を行い、全国で2番目に非正規が少ない県になっています。

政治の役割は、将来不安を払拭し安心して暮らせる環境を提供することにあると考えています。「一人ひとり」を大切にする社会を目ざして頑張って参ります。

2月
定例議会

一般会計予算総額

6,497億8,345万円可決なる

新年度予算では、深刻化する人手不足問題への対応や中小・零細企業の事業承継、子育て支援では、「こどもまんなか山形」の推進。また、山形新幹線の米沢トンネル（仮称）の整備に向け基金を創設。更に、防災力の強化では、地震による家屋の倒壊から命を守る住宅改修の緊急支援や災害に強い道路網の強化等、激甚化する豪雨災害に備えた治水対策などに取り組むこととしています。

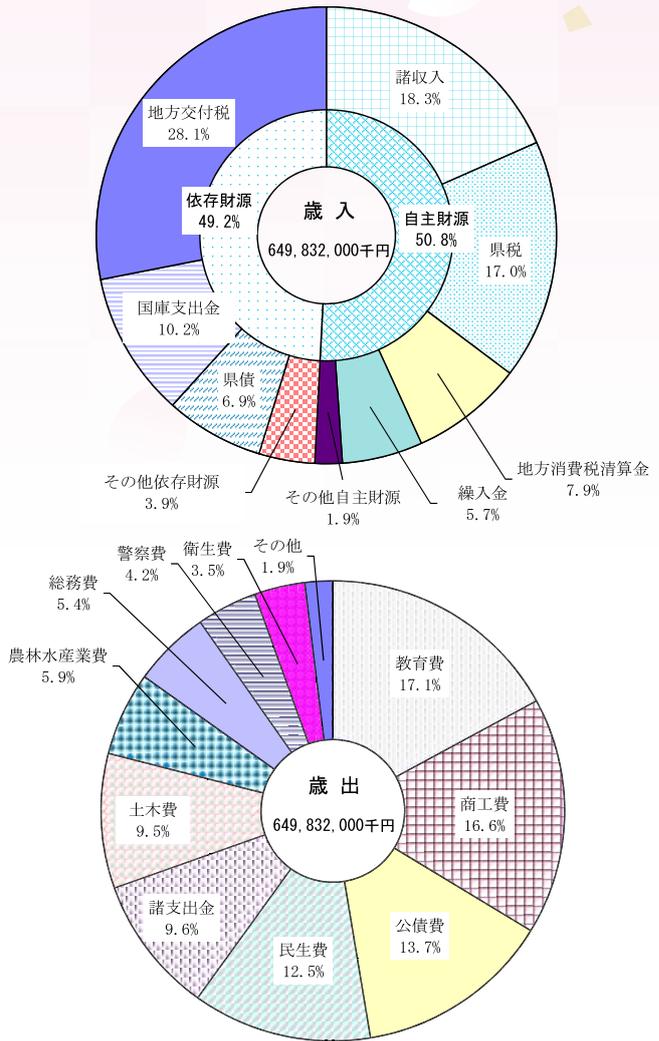
6年度当初予算に関し吉村美栄子知事は、「将来の人づくりに力を入れた」と強調していました。なお、寒河江市に設置を予定しておりました「フルーツ・ステーション」につきましては、2年間農林水産常任委員会で慎重審議を進めてきましたが自民党の反対で否決となり、その予算を削除し再提案し可決になりました。

2,023億円返済

吉村県政では、持続可能な財政運営に心がけ着実に県債を減らしてきました。就任した平成21年当時の実質的県債残高は、8,381億円。令和4年度は6,358億円となり2,023億円を返済しています。

確かに、将来的には人口減少によって税収が減り、高齢化社会に伴い社会保障費の増を踏まえれば厳しい環境にあります。次世代に過度な負担を残すことなく対応しています。

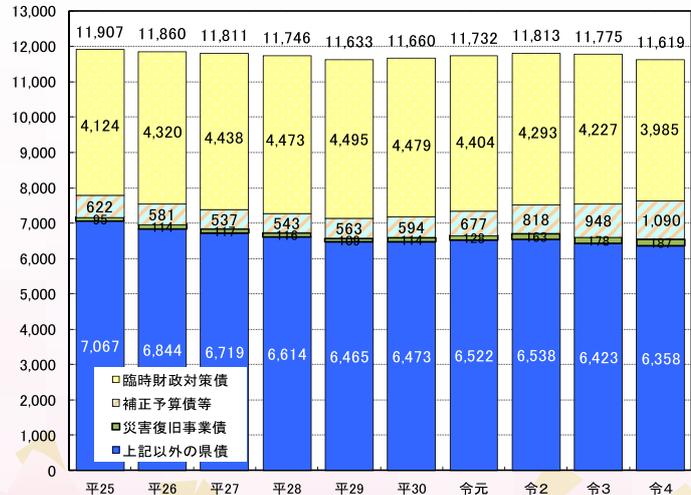
1 当初予算の概要（一般会計）



(参考)

【億円】

県債残高の推移



注1：表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある
 注2：臨時財政対策債とは、地方公共団体に交付される地方交付税の不足分を補填するもので、「地方交付税の身替わり」となる県債
 注3：補正予算債等とは、政府の経済対策に伴う追加公共事業及び防災・減災、国土強靱化緊急対策事業に係る公共事業の地方負担額に充当する県債

「建設常任委員会発言」

○バリアフリー法に基づく道路計画を

今後10年間の道路行政の取組み方針を示す「山形県道路中期計画2028」が策定されました。道路づくりにあっては、バリアフリー法に基づき、高齢者や障がい者はもちろんのこと、ユニバーサルデザインの考え方によって使いやすい道路整備に取り組んで頂いています。

しかし、国道348号美畑町のアンダー道路に関してはこれまでも改善の要望は行ってきましたが、その趣旨が活かされず不便な場所になっています。この度の計画では、利用者の利便性を考慮して斜度を緩やかにする計画になっていますが、抜本的改善策でないため県の対応を質しました。執行部



国道348号美畑町アンダー道路

からは、交通量の多さや財源問題を理由としておりましたが、納得できるものではありませんので今後も対応して参ります。

他に、住宅リフォーム制度の拡充の話や市街地における河川整備の進め方について質問致しました。なお、住宅リフォームにつきましても、12年間の経済波及効果として1,500億円を超える額になっています。

信号機設置なる

蔵王みはらしの丘の住宅地に入る信号機（右折信号）につきまして、今年度予算で設置して頂きました。ご承知の通り、蔵王みはらしの丘は都市再生機構や県・市が主体となって平成22年3月から住宅地を提供してきました。

しかし、当初計画していました中核施設や中学校等は未だ設置されず約束が守られていません。また、住宅地に入る際の信号機につきましても、右折信号が無いため夕方の帰宅時は待機を余儀なくされてきました。これらの問題を、一昨年代表質問で取り上げ、この度、警察本部から現状を把

握して頂き、危険性を回避するため対応して頂きました。

民間の分譲と違い、公的機関が分譲を進めた経緯を重んじ、「約束事」を進めていくことが土地評価にも結びつくと考えます。



蔵王みはらしの丘に新たに設置された右折信号機

個人所得上昇率
1位
47都道府県でトップ

多くの県民の皆様方のご努力によりまして、2022年度の個人所得の上昇率が1992年(バブル期)比で全国1位になったことが、総務省のデータで明らかになりました。

検討結果報告

—山形県議会女性・若者参画推進会議—

昨年の県議会議員選挙において県内投票率が過去最低となり、減少傾向に歯止めがかからず、また、議員のなり手不足や若年層の低投票率が問題となっています。森田議長から検討の提案を受け、昨年の7月第1回の会議を開きました。その後関係者の聞き取りや県外の視察を行い、10回の会議を重ね先日議長に報告致しました。



主な提言としましては、「広報・公聴事業等の充実」「施設の受け入れ環境及び女性議員等の活躍・参画推進に向けた環境整備」「議員活動における配慮」の項目を設け、それぞれの取り組みの方向性を示すと共に国に対しても議会出席が困難（妊娠や出産など）な女性議員の表決権の確保や主権者教育の一層の推進等をまとめた意見書を提出しました。

山形PAスマートICがスタート

前回の議会報でも紹介しました東北自動車道路の山形PAスマートICが、去る3月24日に通行可能となりました。本当に良かったと思います。県内では、寒河江パーキングに引き続き2例目となりました。

高速交通網の進展によって、県民生活が更に快適なものになると期待しています。

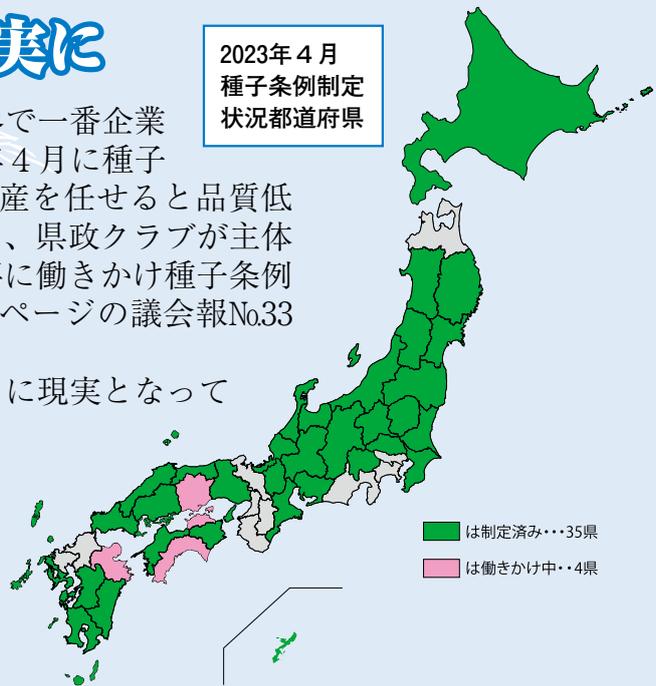


種子法廃止の不安が現実

安倍政権時代、丁寧な議論もなく「世界で一番企業が活躍する国づくり」の一環として2018年4月に種子法が廃止されました。「民間企業に種子生産を任せると品質低下や安定供給に不安がある」との思いから、県政クラブが主体になり、農業団体の理解も頂き、吉村知事に働きかけ種子条例を同年10月に制定いたしました。〔ホームページの議会報No.33号に内容を掲載〕

しかし、懸念していたことが昨年の2月に現実となっています。民間種子会社の「三井化学クロップ社」が「みつひかり」という米の種子を出荷しないと農家に通知。更に、産地や品種の異なる種子を混入、加えて、発芽率の虚偽表示も明らかになっています。条例を作っていて本当に良かったと思います。

2023年4月
種子条例制定
状況都道府県



皆様方からの県政に対するご意見をお待ちしております。TEL・FAX 023-643-4847

高橋啓介ホームページ <http://www.keisuke-t.com>

県議 高橋啓介 検索



※新年度から以下の点が変更になります。

常任委員会…総務常任委員会委員

なお、議員選出の監査委員につきましては継続して任につきます。